

1. シンポジウム

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成8年 5月31日 (金) 参加者 99名	『がん治療はどこまで進み、その結果、患者の苦痛はどこまで軽減したか？』 — 演題 — ・がん治療と画像診断 ・がん外科治療の進歩からみた患者苦痛の軽減 ・放射線療法の進歩 ・がん化学療法の進歩 ・末期がん患者の苦痛の緩和	国立がんセンター中央病院 部長 垣添 忠生 — 講師 — 国立がんセンター東病院 部長 森山 紀之 国立がんセンター中央病院 医長 森谷 亘皓 放射線医学総合研究所 部長 辻井 博彦 国立名古屋病院 院長 下山 正徳 大阪大学人間科学部 教授 柏木 哲夫

2. セミナー

実施月日	テーマ・演題	コーディネータ・講師
平成8年 9月6日(金) 参加者 128名	『遺伝子診療』 — 演題 — ・遺伝子治療の現状と今後の展望 1) アデノシンドミアナーゼ欠損症における 遺伝子治療 2) 遺伝子治療に関する諸問題 a) アデノ随伴ウイルス (AAV) ベクターの可能性 b) 遺伝子治療におけるリポフェクションの開発と応用 ・遺伝子診断の現状と今後の展望 1) 免疫関連疾患と遺伝子診断 2) がんの遺伝子診断；現状と展望 ・遺伝子診療を適切に進める社会 ・遺伝子診療体制はどうあるべきか	大阪府立成人病センター 総長 豊島久真男 京都大学医学研究科 教授 森 徹 — 講師 — 北海道大学医学部 助教授 崎山 幸雄 自治医科大学 教授 小澤 敬也 大阪大学細胞生体工学センター 助教授 金田 安史 九州大学生体防御医学研究所 教授 笹月 健彦 東京大学医科学研究所 教授 中村 祐輔 生命誌研究館 副館長 中村 桂子 京都大学医学研究科 教授 森 徹
平成8年 10月9日 (水) 参加者 65名	ブレインサイエンスシリーズ 第9回 『脳の接着因子—基礎と病態—』 — 演題 — ・カドヘリンによる神経回路の区画化 ・終脳特異的細胞接着分子テレンセファリンの構造と機能 ・神経細胞接着分子コンタクチンの機能とその細胞内シグナル伝達系 ・細胞接着分子L1の構造と機能の解析 ・ロイシン・リッチ・リピート・ファミリーの脳における発現 ・脳腫瘍の進展におけるインテグリンの関与	大阪大学医学部 教授 遠山 正彌 — 講師 — 京都大学大学院理学研究科教授 竹市 雅俊 大阪医科大学 助教授 吉原 良浩 奈良先端科学技術大学院大学 助手 武内 恒成 慶応義塾大学医学部 助手 武田 泰生 大阪大学医学部 客員助教授 高木 勉 大阪大学医学部保健学科 教授 松浦 成昭
平成9年 1月17日 (金)	『細胞周期—血管内皮系細胞の分化、増殖を中心—to—』 — 演題 —	東京大学医科学研究所 教授 澁谷 正史 大阪大学微生物病研究所 教授 秋山 徹 — 講師 —

参加者 149名	<ul style="list-style-type: none"> 細胞周期に関する最近の話題 細胞周期と癌抑制遺伝子の関連 血管新生と転写因子 内皮細胞増殖因子VEGFとその作用機序 TGF-βレセプターとシグナル伝達 	東京大学医科学研究所 助手 平井 洋 大阪大学微生物病研究所 教授 秋山 徹 東北大学加齢医学研究所 教授 佐藤 靖史 東京大学医科学研究所 教授 澁谷 正史 癌研究会癌研究所 部長 宮園 浩平
2月21日 (金) 参加者 122名	『細胞内カルシウム動態とシグナル伝達 -その生理と病態-』 - 演題 - <ul style="list-style-type: none"> 受精とカルシウム 平滑筋細胞収縮のカルシウム制御と形質転換 (分化・脱分化) における遺伝子発現制御 細胞内カルシウム動態と分泌 シナプスの可塑性とカルシウム 心血管系におけるカルシウムシグナルのダイナミクス IP₃ レセプターとカルシウムシグナリング -その生理機能と病態- 	東京大学医科学研究所 教授 御子柴克彦 - 講師 - 東京女子医科大学 教授 宮崎 俊一 大阪大学医学部 教授 祖父江憲治 東京大学医学部 助教授 河西 春郎 大阪大学医学部 教授 津本 忠治 東京大学医学部 教授 飯野 正光 御子柴克彦

3. 千里ライフサイエンス技術講習会

開催日	テーマ	後援企業 & コーディネータ、講師
第7回 平成8年 11月11日 参加者 29名	『細胞内機能研究のための最新技術』 -共焦点顕微鏡とBIAcoreを用いた応用- <ul style="list-style-type: none"> 共焦点顕微鏡における3次元立体再生構築法 共焦点顕微鏡による経時変化測定 (カルシウムイオンなど) BIAcore を用いた生体分子の特異的相互作用の検出 	- 後援企業 - メリディアンインスツルメンツ ファーイースト(株) ファルマシアバイオテック(株) - 講師 - メリディアンインスツルメンツ ファーイースト(株) 井野 正子、藤下まり子 ファルマシアバイオテック(株) 稲川 淳一
第8回 11月22日 参加者 33名	『 Recent Advances in the Use of Green Fluorescent Protein as a Genetic Reporter 』 <ul style="list-style-type: none"> Development and characteristics of variants of GFP wich alter the spectral properties of the protein. Comparison of EGFP (a highly fluore-scent, high expressing GFP variant) with lacz as selection marker for mammalian cell transfections. Examples of how various frms of GFP have been used in a number of applications, including protein localization, transgenic selection, doule labeling, and gene expression studies 	- コーディネータ - 東京大学医科学研究所 教授 御子柴克彦 - 後援企業 - 東洋紡績(株) Clontech Laboratoyies - 講師 - Clontech Laboratories Dr. PaulDiehl
第9回 平成9年 2月5日 参加者 22名	『 生体画像の取得と応用 』	- コーディネータ - 大阪大学医学部 教授 田村 進一 - 後援企業 - (株)ニコン 浜松ホトニクス(株) - 講師 -

<ul style="list-style-type: none"> ・顕微鏡の基礎理論とその応用 －無限遠光学系の特徴と活用方法－ ・医用画像処理の動向 －検査・治療への応用－ ・ファイバースコープ顕微鏡によるラット脳深部組織の観察 ・展示機器のデモンストレーション 		(株)ニコン 利光 邦夫 ・大瀧 達朗 田村 進一 浜松ホトニクス(株) 山下 豊
--	--	---

4. 新適塾

(1) 千里神経懇話会

開催日	テーマ・演題	世話人・講師
第11回 平成8年 4月24日 参加者 99名	『脳虚血と細胞ストレス応答』 －演題－ ・グリア細胞由来の新規ストレス蛋白 ORP150(150Kda Oxygen Regulated Protein)の精製とクローニング ・ヒト動脈硬化症におけるORP150の発現と その意義 ・低酸素・再酸素化によって誘導される新規 小胞輸送関連遺伝子RA410 -In vitroの 低酸素ストレスモデルを用いて－ ・脳虚血とニューロブシン	ー講師ー 大阪大学医学部 第二解剖 小川 智 大阪大学医学部 病理学 塚本 吉胤 大阪大学医学部 第二解剖 松尾 徳幸 兵庫医科大学 第5内科 松山 知弘
第12回 6月6日 参加者 91名	『神経系分化の分子メカニズム』 －演題－ ・教育講演 神経の最終分化の規定因子：神経特異的シ グナル伝達から転写制御まで；Neuronal Shc (N-Shc) and Neural-Restrictive Silencer Factor (NRSF/REST) ・顆粒細胞層に特異的に発現する新規Zinc finger 遺伝子 gc2 のクローニング ・皮質－橋路形成とその関連因子の解析 ・M-semaG の構造と組織分布	ー講師ー 新技術事業団「遺伝と変化」領域研究室 森 望 奈良先端科学技術大学院大学細胞構造 松本 和政 大阪大学医学部 第二解剖 石井 伸子 福島県立医科大学生体情報遺伝研究所 細胞科学 和中 明生 大阪市立大学医学部 第一解剖 佐藤 真 大阪大学医学部 第二解剖 古山 達雄 大阪大学医学部保健学科 宮崎 信雄、小杉 厚、稲垣 忍

<p>第13回 7月30日 参加者 61名</p>	<p>『神経系における浸透圧制御機構』 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脳虚血におけるorganic osmolyteの変化 —¹H magnetic resonance spectroscopyによる検討— ・Osmotic stressにより誘導される遺伝子の探索 アストロサイトの初代培養系を用いて ・眼組織において、高浸透圧負荷により誘導される遺伝子について ・Cell volume regulation に関与すると考えられる amiloride-sensitive Na⁺ channel のクローニング 	<p>大阪大学医学部 脳神経外科 吉峰 俊樹 大阪大学医学部 第二解剖 島田 昌一 — 講師 — 大阪大学医学部脳神経外科 塾中 俊英、吉峰 俊樹、甲村 英二 山下 俊英 若山 暁、湯口 貴導、榊 孝之 早川 徹 大阪大学医学部 分子脳機構 山下 俊英、高木 勉 第二解剖 島田 昌一、遠山 正彌 脳神経外科 早川 徹 大阪大学医学部第二解剖 島田 昌一、遠山 正彌 眼科 森村 浩之、石本 一郎 田野 保雄 大阪大学医学部第二解剖 南 有紀、鴨川 真也、井上 浄 森村 浩之 島田 昌一、遠山 正彌</p>
<p>第14回 9月18日 参加者 80名</p>	<p>『神経再生の分子メカニズム』 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・軸索切断に伴って発現の変動する遺伝子の探索 ・舌下神経損傷後のグルタミン酸スカベンジシステムの作動 ・多機能性キメラニューロトロフィンの神経再生促進効果と神経栄養因子としてのHGFの機能解析 ・赤核脊髄路ニューロンでの軸索切断によるCGRP発現とBDNFの影響 	<p>大阪大学医学部神経解剖 木山 博資 — 講師 — 木山 博資 塩野義製薬(株)中枢神経研究センター 三宅 俊彦、我原 義成、上部 健一郎 山田 肇、北村 忠久 大阪大学医学部神経解剖 桐生寿美子、土岐 栄喜、湊川 一彦 蘇 慶寧、竹内 大亮、木山 博資 大阪大学医学部腫瘍生化学 船越 洋、中村 敏一 兵庫医科大学第二解剖 福岡 哲男、三木 健司、野口 光一</p>
<p>第15回 10月25日 参加者 80名</p>	<p>『神経細胞死の諸相』 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・アルツハイマー病の神経細胞変性と細胞骨格蛋白 ・一過性前脳虚血後に砂ネズミ海馬で誘導される遺伝子の探索—亜鉛トランスポーター Zn T-1の発現 ・神経変性疾患におけるプログラム細胞死の役割—βアミロイドとの関連 ・神経細胞のプログラム細胞死の際に発現上昇する遺伝子DP5の機能解析 ・まとめ 	<p>大阪大学医学部 分子脳機構 高木 勉 — 講師 — 高木 勉 大阪大学医学部精神医学 武田 雅俊、工藤 喬、中村 佑 関山 敦生 金山 巖、以倉 康充、西村 健 大阪大学医学部分子脳機構 津田 学、今泉 和則、片山 泰一 高木 学 大阪大学医学部 第一内科 北川 一夫 住友製薬(株)総合研究所精神神経研究G 伊藤 彰 分子免疫研究G 掘込 一彦 大阪大学医学部分子脳機構 今泉 和則、津田 学、片山 泰一 高木 学 遠山 正彌</p>
<p>第16回 12月4日 参加者 91名</p>	<p>『神経系における細胞内情報伝達』 —演題—</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめに ・末梢神経再生時の細胞内情報伝達 ・STATファミリーのサイトカインシグナル伝達における役割 ・神経分化と非受容体型チロシンキナーゼ 	<p>大阪大学医学部 神経解剖 木山 博資 — 講師 — 木山 博資 大阪大学医学部精神解剖 濤川 一彦、桐生寿美子、姚桂蘭 木山 博資 兵庫医科大学 生化学 竹田 潔 大阪大学蛋白研 代謝部門 岡田 雅人</p>

<p>第17回 平成9年 1月30日 参加者 69名</p>	<p>『グリア研究の新展開』 —演題— はじめに ・グリア特異的に発現するグリシントランス ポーター1bを介したグリシン逆輸送の解析 —シナプス間隙のグリシン濃度を規定する 因子とは?— ・GABAトランスポーター(GAT1-3) 発現の多様性—グリア型GABAトランス ポーターの同定— ・再酸素化アストログリアにおけるHSP70 の発現と機能—nKBmouseの開発と応用— ・新しい膜蛋白Ninjurinの機能</p>	<p>大阪大学医学部バイオ研神経解剖 佐藤 康二 —講師— 大阪大学医学部 第二解剖 佐藤 康二 坂田 和子 大阪大学医学部 麻酔科 西村 光弘 大阪大学医学部 神経内科 藺牟田 直彦 大阪大学医学部第二解剖、 ワシントン大学 医学部 荒木 敏之</p>
<p>第18回 3月7日 参加者 73名</p>	<p>『ストレスと遺伝子発現(その1)』 —演題— ・おける視床下部傍核における immediate early genes(IEGs)の発現 —Guluc拘束ストレスにocorticoindによる 制御とそのの生理的意義— ・ストレス後のCRF受容体遺伝子発現の変化 —CRF1型・2型受容体によるCRF遺伝 子発現の調整— ・長時間拘束ストレスによる海馬でのneuror —ophins mRNAの変化 ・ストレス負荷による海馬神経細胞障害に ついて</p>	<p>和歌山県立医学大学 第2解剖 仙波恵美子 —講師— 和歌山県立医学大学第2解剖 仙波恵美子、梅本 産太 東京女子医大 第二内科 今城 俊浩 和歌山県立医学大学 第2解剖 上山 敬二 ㈱ツムラ中央研究所開発薬理研究部 溝口 和臣</p>

(2) 21世紀の薬箱

開催日	テーマ・演題	世話人・講師
<p>第6回 平成8年 6月3日 参加者50名</p>	<p>『研究環境支援とインターネット(2)』 —演題— ・インターネットとセキュリティー ・バイオサイエンスとインターネット</p>	<p>大阪大学薬学部 教授 那須 正夫 —講師— 大坂大学基礎工学情報工学科ソフト ウェア構成学講座助手 魚井 宏高 大坂大学薬学部衛生化学講座 教授 那須 正夫</p>
<p>第7回 7月10日 参加者61名</p>	<p>『脳と細胞死』 —演題— ・神経細胞死(Neuronal Death) ・グリア細胞死(Glial Deatg) ・虚血脳傷害</p>	<p>大阪大学薬学 部長 馬場 明道 —講師— 京都大学薬学部薬理学 教授 赤池 昭紀 大坂大学薬学部薬理学 助教授 松田 敏夫 塩野義製薬㈱ 創薬第二研究所 松尾 嘉之</p>
<p>第8回 8月23日 参加者48名</p>	<p>新しい治療戦略(3) 『最適のDDS を目指した機能性リポソームの 開発』 —演題— ・ミセル—ベジクル転移と膜蛋白質の再構成 ・高分子によるリポソームの機能化 ・HVJリポソームを用いた細胞内への 物質導入</p>	<p>大阪大学薬学部薬剤学 教授 真弓 忠範 —講師— 富山医科薬科大学薬学部物理化学教室 上野 雅晴 大坂府立大学工学部機能物質科学科 河野 健司 大坂大学細胞生体工学センター 細胞機能研究分野 金田 安史</p>

第9回 9月25日 参加者34名	『細菌学新時代』 — 演題 — ・迅速な細菌の検出方法 ・レジオネラをもぐる最近の話題	大阪大学薬学部 教授 那須 正夫 — 講師 — 大坂大学薬学部 衛生化学講座 谷 佳津治 岐阜大学医学部 微生物学講座 山本 啓之
第10回 11月28日 参加者48名	新しい治療戦略(4) 『DDSによる吸収改善と吸収障壁克服』 — 演題 — ・鼻・肺からの薬物吸収と鼻・肺投与のための製剤設計 ・消化管の機能解析に基づいた薬物吸収性の予測と改善 ・薬物の経皮吸収—ヘビ抜け殻を用いた検討 ・特殊輸送系を介した口腔粘膜からの薬物吸収	大阪大学薬学部 教授 真弓 忠範 — 講師 — 大坂薬科大学第2薬剤学教室 助教授 森本 一洋 摂南大学薬学部薬剤学教室 助教授 山下 伸二 武庫川女子大学薬学部薬剤学教室 助教授 高橋 幸一 昭和薬科大学薬剤学教室 助手 宇都口直貴
第11回 12月19日 参加者31名	『神経回路形成と可塑性』 — 演題 — ・神経回路形成機構 ・脳線条体のシナプス可塑性 ・PACAP/VIPニューロン	大阪大学薬学部 教授 馬場 明道 — 講師 — 大坂大学基礎工学部 刺激生理学 教授 村上富士夫 九州大学薬学部薬理学 教授 渡辺 繁紀 大坂大学薬学部薬理学 助手 橋本 均
第12回 平成9年 1月29日 参加者23名	『3次元で生命をとらえる』 — 演題 — ・3次元グラフィックワークステーションで見る、生物、化学の世界 ・3Dで見るミクロの世界	大阪大学薬学部 教授 那須 正夫 — 講師 — 大坂大学遺伝情報実験施設 講師 高木 達也 佐賀大学農学部生物調節学 助教授 染谷 孝
第13回 2月14日 参加者46名	新しい治療戦略(5) 『次世代を担う免疫ワクチン療法開発の最前線』 — 演題 — ・ワクチンアジュバンドとしてのリポソームの粒子設計 ・粘膜免疫：細胞間インターネットからワクチンまで	大阪大学薬学部 教授 真弓 忠範 — 講師 — 大坂大学薬学部 薬剤学講座 中西 剛 大坂大学微生物病研究 免疫・生体制御研究機関 清野 宏
第14回 3月19日 参加者35名	『動脈硬化とLDLの分子生物学的アプローチ』 — 演題 — ・コレステロール代謝関連遺伝子の転写調節機構 ・HDLを介した動脈硬化防御機構とその異常 ・動脈硬化とマイクロファージスカベンジャー受容体	大阪大学薬学部 教授 馬場 明道 — 講師 — 大坂大学薬学部生化学 助教授 佐藤隆一郎 大坂大学医学部第2内科 助手 山下 静也 大坂大学薬学部薬化学 助教授 土井 健史

5. 千里ライサイエンス市民公開講座「成人病シリーズ」

コーディネータ：国立循環器病センター名誉総長 尾前 照雄氏

回数	テーマ・演題	座長・講師
----	--------	-------

第16回 平成8年 8月2日 参加者 124名	『感覚器の異常』 — 演題 — ・開催にあたって ・老年期の目の異常 ・聴覚・平衡感覚の異常 ・ニオイと生活	尾前 照雄、岡田 善雄、田口 數雄 — 講師 — 岡田 善雄 神戸海星病院（医療法人財団） 院長 山中 昭夫 大阪市立大学医学部 助教授 山根 英雄 総合高津中央病院 部長 浅賀 英世
第17回 12月20日 参加者 133名	『がんの自己診断』 — 演題 — ・開催にあたって ・見逃されやすいがんの兆候 ・乳がんの自己検診で命と乳房を守ろう ・がん検診は「百害あって一利なし」か	尾前 照雄、岡田 善雄、田口 數雄 — 講師 — 尾前 照雄 国立がんセンター 名誉総長 末舛 恵一 大阪府立成人病センター 副院長 小山 博記 大阪府立成人病センター 調査部長 大島 明
第18回 平成8年 3月15日 参加者 174名	『血圧の測り方と健康管理』 — 演題 — ・開催にあたって ・血圧の変動 -病院の血圧・家庭の血圧夜の血圧- ・日本一長寿沖縄県民の血圧と脳卒中・心臓病 ・薬のみ方・のませ方	尾前 照雄、岡田 善雄、田口 數雄 — 講師 — 岡田 善雄 東北大学医学部 講師 今井 潤 琉球大学医学部 教授 柗山幸志郎 尾前 照雄

6. 千里ライフサイエンスフォーラム

開催月日	講演テーマ	講師名（所属）
45回 平成8年 4月19日 参加者33名	『名人芸をコンピューターで探る』	大阪学院大学国際学部 教授 大村 皓一
46回 5月23日 参加者45名	『酒・幻覚剤・エクスタシー』	国立民族学博物館 教授 吉田 集而
47回 6月21日 参加者25名	『生体分子の情報科学』 ～ペプチドの分子工学的利用を目指して～	通産省大阪工業技術研究所 室長 吉川 暹
48回 7月26日 参加者27名	『くらしと微生物』	大阪府立大学農学部 教授 荒井 基夫
49回 8月16日 参加者26名	『シーボルトと日本』 ～ジャパノロジーの誕生～	国立民族学博物館 教授 熊倉 功夫
50回 9月20日 参加者34名	『都市地震防災の見直しとその問題点』 [KRFとのジョイントフォーラム]	京都大学防災研究所 教授 河田 恵昭
51回 10月18日 参加者27名	『未来を拓く浪速の歴史と文化』	大阪ガスエネルギー・文化研究所 副所長 古館 晋
52回 11月20日 参加者45名	『免疫のはたらきと病気』	大阪大学医学 部長 岸本 忠三
53回 12月12日 参加者28名	『地球環境企業の時代における生態学の役割』	(社) 淡水生物研究所 所長 森下 郁子
54回 平成9年 1月24日 参加者33名	『バイオテクノロジーは酒造りを変えるか?』	白鶴酒造株式会社 研究開発部 次長 近藤 恭一

<p>55回 2月19日 参加者37名</p>	<p>『独創は素朴な疑問から』 ～ 毒から薬を ～</p>	<p>(財)サントリー生物有機科学研究所長 東大 名誉教授 中嶋 暉躬</p>
<p>56回 3月12日 参加者33名</p>	<p>『電子マネーと情報セキュリティ』 ～情報通信技術の動向～</p>	<p>大阪大学基礎工学部情報科学科 教授 前NTTコミュニケーション科学研究 所長 西川 清史</p>